



同窓会は本校生徒の 「湧心魂…愛・誇り・自立」を応援します

江津・1979 勤労・責任・創造 校訓 自主・責任・創造 湧心館・2022



「新年のご挨拶並びに
本校の教育について」
湧心館高等学校長 打越博臣

江津高校、湧心館高校の同窓の皆様、新年明けましておめでとうございます。
私は定期異動により、令和3年4月1日に湧心館高校第20代校長として着任しました。打越博臣(うちごし ひろおみ)と申します。どうぞよろしくお願いたします。
昨年度から世界的規模で猛威を振るっている新型コロナウイルスは、昨年の同時期に比べれば知見が深まり、ワクチン接種も進んでいるものの、学校現場にはまだ多くの

が、コロナ禍の終息を願っているだけです。
また昨年は四年に一度のスポーツの祭典である東京二〇二〇オリンピックが開催されて日本人選手の活躍が国民の声援にこたえて、金メダルが二十七个・銀メダルが十四個・銅メダルが十七個と大活躍をされました。又パラリンピックでは金メダルが十三個・銀メダルが十五個・銅メダルが二十三个獲得し大会が終了しまして選手活躍に国民の皆様が感動されたと思っております。
昭和五十八年三月同窓会発足以来三十八年、二〇二一年では役員改正の年でしたので、新役員皆様の若返り、さらなる活性化と定着化をはかり、同窓会の新しい体制を構築しました。
令和三年六月に第一役員会が開催できませんでしたので、七月に総会及び役員改正の書面議決により賛成過半数を得ましたので、議決権を行使しまして、新役員の若返りを図る感じています。
さて、昨今、様々な分野の方々が今の子供たちに身に付けてほしいこととして、「チャレンジする意欲」と「失敗した後の対応力・修正力」を挙げています。こうした社会の要請を背景として、本年度から本校は、「挑戦」をテーマに取り組んでいます。教師は「教師自身が挑戦する、生徒の挑戦を支援する」と題して、生徒たちの「夢」の実現が叶うように心を一つにして取り組み、生徒たちは「大いに学び、大いに鍛えることへの挑戦」と題して、授業や部活動などの場で精一杯挑戦し、確かな成長を手に入れて自分の未来を大きく切り拓くなど、夢を叶える努力をしています。

新年明けましておめでとうございます。
皆様にはお元気で新年をお迎えのことと思います。同窓会会員の皆様、そして学校長をはじめ教職員の皆様方には、日ごろから同窓会活動にご理解とご協力賜わり、厚く御礼と感謝を申しあげます。
令和二年度卒業生を含めると、卒業生が一万名を超えました。平成二十七年六月の第一回役員会において、会長という重責を承り、早六年在過ぎ七年目迎え会長としての責任感を強く感じております。
令和二年度の同窓会行事の事で、少しお話しします。
五月の監査以外には四月の三課程の入学式と九月の通信制の前期卒業式と後期入学式又、令和三年三月の三課程の卒業式もコロナ感染対策により同窓会役員の出席はなく祝詞のみの挨拶だけとなりました。
令和三年度では第一回役員会が開催できなくて、役員の方々に書面議決を行使しまして二十八名中十八名の方より過半数の書面議決賛成文書を得たことを報告いたします。
令和三年度も前期同様の行事予定になってしまいました



同窓会会長を引きうけまして、
今年で七年目になりました。

同窓会会長 古田利武

が、コロナ禍の終息を願っているだけです。
また昨年は四年に一度のスポーツの祭典である東京二〇二〇オリンピックが開催されて日本人選手の活躍が国民の声援にこたえて、金メダルが二十七个・銀メダルが十四個・銅メダルが十七個と大活躍をされました。又パラリンピックでは金メダルが十三個・銀メダルが十五個・銅メダルが二十三个獲得し大会が終了しまして選手活躍に国民の皆様が感動されたと思っております。
昭和五十八年三月同窓会発足以来三十八年、二〇二一年では役員改正の年でしたので、新役員皆様の若返り、さらなる活性化と定着化をはかり、同窓会の新しい体制を構築しました。
令和三年六月に第一役員会が開催できませんでしたので、七月に総会及び役員改正の書面議決により賛成過半数を得ましたので、議決権を行使しまして、新役員の若返りを図る感じています。
さて、昨今、様々な分野の方々が今の子供たちに身に付けてほしいこととして、「チャレンジする意欲」と「失敗した後の対応力・修正力」を挙げています。こうした社会の要請を背景として、本年度から本校は、「挑戦」をテーマに取り組んでいます。教師は「教師自身が挑戦する、生徒の挑戦を支援する」と題して、生徒たちの「夢」の実現が叶うように心を一つにして取り組み、生徒たちは「大いに学び、大いに鍛えることへの挑戦」と題して、授業や部活動などの場で精一杯挑戦し、確かな成長を手に入れて自分の未来を大きく切り拓くなど、夢を叶える努力をしています。



令和3年度(2021年度)同窓会予算書

1. 一般会計 (収入の部)

単位：円

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
会費	1,125,000	1,125,000	0	全日制 90名×5,000円 定時制 25名×5,000円 通信制 110名×5,000円
繰越金	2,721,584	2,066,539	655,045	
雑収入	221	221	0	預金利息等
計	3,846,805	3,191,760	655,045	

(支出の部)

単位：円

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
事務通信費	900,000	800,000	100,000	同窓会新聞郵送料、封筒印刷代、ホームページ年間管理料 ドメイン名登録サービス契約更新料他
会議費	250,000	250,000	0	役員会活動費、役員懇談会
学校行事費	200,000	200,000	0	卒業証書用ホルダー
会報費	300,000	200,000	100,000	同窓会新聞印刷代、新聞広告代
名簿管理費	250,000	150,000	100,000	同窓会新聞郵送用宛名シール代
給与	150,000	150,000	0	事務補助職員手当
積立金	500,000	200,000	300,000	同窓会積立金
予備費	1,296,805	1,241,760	55,045	
計	3,846,805	3,191,760	655,045	

2. 特別会計

前年度からの繰越金 4,133,324 円
※50周年記念事業基金に向けて

令和2年度同窓会決算

1. 一般会計 (収入の部)

単位：円

科目	当初予算額	補正予算額	決算額	増減	備考
会費	1,125,000	0	1,230,000	105,000	246名×5,000円
繰越金	2,066,539	0	2,066,539	0	
雑収入	221	0	22	△199	預金利息(40周年記念事業費通帳解約時利息5円、寄付金通帳解約時利息1円を含む)
計	3,191,760	0	3,296,561	104,801	

(支出の部)

単位：円

科目	当初予算額	更正額	更正予算額	決算額	備考
事務通信費	800,000	0	0	112,270	郵送料、ホームページ年間管理料
会議費	250,000	0	0	26,739	役員会活動費
学校行事費	200,000	0	0	145,000	卒業証書用ホルダー
会報費	200,000	0	0	41,952	新聞広告代
名簿管理費	150,000	0	0	0	
給与	150,000	0	0	44,176	事務補助職員給与
積立金	200,000	0	0	200,000	同窓会特別会計積立金へ充当
予備費	1,241,760	0	0	4,840	ドメイン名登録サービス契約更新料
計	3,191,760	0		574,977	

(残高の部)

単位：円

収入決算額	支出決算額	残高合計	摘要
3,296,561	574,977	2,721,584	残高は令和3年度へ繰り越し

2. 特別会計

単位：円

収入				支出	残高	残高は令和3年度へ繰り越し ※40周年記念事業費残高 1,890,676円含む
前年度繰越金	本年度積立金	預金利子	合計			
2,042,575	※2,090,676	73	4,133,324	0	4,133,324	

3. 監査報告

関係諸帳簿及び書類を監査した結果、上記のとおり相違なく正確かつ適法に執行されていることを認めます。
令和3年5月14日

令和3年5月14日
監査委員 宇野春美
監査委員 山口美恵子

江極だより

発行所
湧心館高等学校
同窓会事務局
熊本市中央区出水4丁目1-2
電話 (096) 372-5311
題字 三嶋勝彦
http://www.yusinkan.com
同窓生数 11,204人



本年度、全日制では4月8日(木)に87名の新生を迎え、入学式を挙

ました。

5月28日(金)に予定されていた高校総体の総合開会式は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため中止になりましたが、前年とは異なり各競技が感染予防策を講じて開催され、本校生もそれぞれの競技会場で熱戦を繰り広げました。

また、高校総文祭も無観客による発表となり、閉会式での手話表現によるボランティア部7名の出演は中止になりました。しかし、3年生を中心にどの部も部員が一つの目標に向けて力を合わせた貴重な経験が、生徒の財産として残りました。

全日制近況

教頭 平野 寿樹

7月に開催された夏の甲子園大会の熊本県予選にも本校野球部は、松橋高校、八代農業高校と合同チームを結成して7月14日(水)に試合に臨みまし

たが、惜しくも1回戦で必由館高校に敗れました。それでも、少ない部員で工夫を重ねながらの活動に満足感を覚えて、3年生部員は活動を終えることができました。

さらに、夏期休業明けも新型コロナウイルス感染症の感染拡大が教育活動に影響を与えました。学校は、時差登校、分散授業、短縮授業を余儀なくされましたが、学校を挙げて感染防止対策を行い学びの保障に努めました。そのような状況の中で9月29日(水)開催された体育大会では、例年と大きく異なるプログラムで進行されました。平日半日の無観客開催という制約の中で、職員と生徒が工夫を重ねて、生徒の思い出に残る充実



した新しい体育大会を実施することができました。また、保護者には、YouTubeでの配信を実施する

等、教育活動へICTを積極的に活用しました。

同様に湧心祭も10月29日(金)に例年より時間を短縮して開催することができました。生徒や職員が、思いを凝縮した展示、発表を工夫したことで感動や充実感のある催し物になりました。



芸術の秋にふさわしく、11月11日(木)に「トリニティ」というピアノ、箏、フラメン

コのコの異質な芸術がコラボした表現活動に生徒は出会いがありました。



た表現活動に生徒は出会いがありました。

令和の教育改革の中で、開校以来の湧心魂を大切にしながら、生徒が参加して伝統文化や異文化への理解を深めました。

また、夏期休業明けも新型コロナウイルス感染症の感染拡大が教育活動に影響を与えました。学校は、時差登校、分散授業、短縮授業を余儀なくされましたが、学校を挙げて感染防止対策を行い学びの保障に努めました。そのような状況の中で9月29日(水)開催された体育大会では、例年と大きく異なるプログラムで進行されました。平日半日の無観客開催という制約の中で、職員と生徒が工夫を重ねて、生徒の思い出に残る充実

した新しい体育大会を実施することができました。また、保護者には、YouTubeでの配信を実施する等、教育活動へICTを積極的に活用しました。



本年度、定時制課程は19名の新生を迎え、生徒数87

名(男子42名、女子45名)でスタートしました。12月現在では81名で活動しています。

打越校長は、本年度のテーマとして、「挑戦」教師が挑戦する、生徒の挑戦を支援するを掲げられ、コンセプトに「生徒たちが学校に来る喜び」「先生たちが教える誇り」「保護者が生徒の成長を見て取れる楽しさ」の3つを示された。これら踏まえ、定時制では、「家族や地域を支える自立」した大人、「学ぶ姿勢を持ち続け成長」していく大人」の育成に取り組んでいます。

部活動では、バスケットボール部、太鼓部、和同好会をはじめ、5つの体育系部活動、7つの文化系部活動、4つの同好会があり、

特別活動の時の活動や放課後、等元気がいっぱい楽しく部活動に励んでいます。

定時制近況

教頭 垂水 彰則

7月16日(金)の校内生活体験発表大会では、学校生活や友人関係、職場で学んだこと、将来への決意などを自分の言葉で表現してくれました。また、今までの自分の振り返りや体の悩みや苦悩の明日への希望について語る姿に、共感



しました。本校代表には櫻井世玲奈さん(4年)が選ばれ、県定通文化大会ではビジネススキルが身に付いたこと、6つの検定資格取得のチャレンジ、将来の夢について真剣に語ってくれました。

11月2日(火)に「ストレスマネジメント教育」テーマが「心の準備体操をしよう」が行われました。目的としては、さまざまな不安や悩みを抱えながらもストレス等に適切に対処すること、心身の健康管理を行い、充実した生き方をマネジメントでできる力を育てることです。ストレスの不調を(ストレス反応)を防ぐには、自分自身で、対処する方法を知って、ストレスと上手に付き合っていくことが大切であることを学びました。

11月11日(木)の芸術鑑賞会では、テーマ「TRINITY」を、ピアノ、フラメンコ、ピアノの3人一体となった芸術表現で開催されました。感性溢れる芸術作品を鑑賞し、心の安らぎ、豊かな感性や創造力が養われ、時間いっぱい楽しく堪能していました。

12月9日(木)の第14回湧心祭は、「Party Night」湧心祭は、微笑ましいニコちゃんマーク、湧心のうたには、生徒・保護者の気持ちが込められ、読む人に感動を与え、ホット、心温まる企画でした。ス

トージ発表、展示、バザーなども「芸術や文化の香り」が感じられ、各々工夫を凝らしたもので大成功でした。

近年は、生産年齢人口の減少、グローバル化や技術革新の進展により、社会構造や雇用環境は大きく変化してきています。また、時代の変化の一つとして「AI・人口知能」が様々な判断をしたり、インターネット経由で最適化された「IoT・モノのインターネット」が広がり、「Social(ソサエティ)5.0」等の新たな時代が到来しています。予測困難な時代に、一人ひとりが未来の創り手となる将来に向けて、自分の人生を切り拓いて行ける強い逞しさを身に付けていくことが出来るように、日々の学校生活を謳歌して行ってくれることを願っています。今後とも宜しくお願



通信制課程では4月18日(日)に前期入学式

が挙行されました。新入生代表の原永さんは、夢実現に向けて、通信制という学校環境を

に行われた全国定時制・通信制総合体育大会では、バドミントン競技の男子団体において、熊本県選抜チーム(本校3人・他校3人)が強豪校と対戦しながら勝ち進み、見事に全国初優勝を果たしました。現在、全国制覇の優勝杯4つが校長室に誇り高く飾られています。(ソフトテニス女子は新型コロナウイルス感染症拡大の関係で棄権しました。)

7月4日(日)の校内生活体験発表会では、10名の生徒が自分の体験や思いを熱く語ってくれました。どの発表も堂々とした、そして聞き応えある発表内容ばかりで、生徒皆が発表に集中して聞き入る姿がありました。同じ仲間の体験に共感し、励まされ、勇気が湧いてきたからだと思

ます。職員および生徒代表の審査の結果、4年生の小池さんの発表「学問の成就を目指して」が代表として、熊本県高等学校定時制・通信制文化大会に出場することになりました。県大会では優秀賞に入賞しました。

通信制近況

教頭 菊川 雅子

活かして、様々な事にチャレンジする学生生活にしていきたいと抱負を述べてくれました。70名の新生入生および転編入生82名とともに、令和3年度の通信制の学校生活が始まりました。

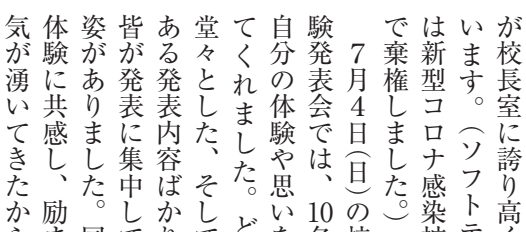
6月6日(日)に行われた熊本県高校定時制・通信制総合体育大会では、熊本市内の各校生活が始まりました。

9月19日(日)に、前期卒業式が挙行されました。卒業生代表の園田さんからは、本校通信制での体験、その体験をバネに課題を乗り越えたこと、そして将来の夢を熱く語ってくれました。12名の卒業生は、とても晴れやかで凛々しく学び舎を巣立っていききました。職員一同、前途ある将来を願っていました。

10月1日(金)の後期入学式では、5名が入学し、後期転編生58人と共に新生活がスタートしました。新入生代表の藤井さんは、何故、本校通信制に入学を決意したのか、どんな高校生活を送りたいのか、しっかりと決意を述べてくれました。

本校は今年度、熊本県指定のエンパワーメントハイスクールの指定校となりました。エンパワーメントハイ

会場において熱戦が繰り広げられ、ソフトテニス女子とバドミントン男子が全国大会への切符を手に入れました。8月



クールの目標は、生徒一人一人の能力を最大限に引き出し、地域社会に貢献できる人材を育成することです。私たち職員が一人となり、本校に進学してきてくれた生徒さん

としっかりと関わることで、それぞれの個性や能力を引き出し、夢実現に向けて伴走・応援していきたいと考えています。今後ともよろしくお願

います。

現在、コロナ禍により学校の教育活動も大きく変化をしております。今後とも柔軟な発想が必要であると考えています。まだまだ先が見えない状況ではありますが、職員一丸となり教育活動の充実に向けて参ります。どうぞよろしくお願

い申し上げます。

お知らせ

※同窓生の皆様へ

会員の皆様には日頃から同窓会活動にご協力を頂き大変感謝申し上げます。

「江極だより」は、2年に一回の発行ですので、令和5年は湧心館高等学校同窓会ホームページにて掲載しますので、是非閲覧ください。

お願い

会員の身の上に、変更(住所や氏名等)が、発生した場合には速やかに同窓会事務局にご連絡ください。

電話 096・372・5311
Fax 096・364・9382

編集後記

会員の皆様には「江極だより」第三十二号をお届けします。

※県定通体育大会は未定

3月5日(日) 後期卒業式

10月23日(日) 文化発表会

10月16日(日) 県定通文化大会

10月1日(土) 前期卒業式

4月17日(日) 入学式

※県定通体育大会は未定

10月11日(月) 入学式

10月28日(金) 体育大会

3月1日(水) 卒業式

(定時制)

4月11日(月) 入学式

10月16日(日) 県定通文化大会

12月8日(木) 湧心祭

3月4日(土) 卒業式(予定)

※県定通体育大会は未定

(通信制)

4月17日(日) 入学式

9月18日(日) 前期卒業式

10月1日(土) 後期卒業式

10月16日(日) 県定通文化大会

10月23日(日) 文化発表会

3月5日(日) 後期卒業式

※県定通体育大会は未定